



熊本港・ガントリークレーン完成式

1月25日、熊本港で行われた『熊本港・新ガントリークレーン完成式』に出席しました。

ガントリークレーンとは特殊なクレーンの一種で主に港や工場、倉庫などで使用され、コンテナや重量物の取り扱いに適しており、その大きさと力強さから大量の荷物を効率的に移動させることが可能で物流業界では欠かせません。皆さんも貿易や輸出入を報じる映像で赤白の数機のガントリークレーンが、コンテナを持ち上げて大型船へ移動する光景をご覧になったことがあ



今回、運用が開始されたことは、熊本県および熊本市西部地域に多方面の効果をもたらします。今後TSMCをはじめとする半導体関連企業の進出に伴い、製造装置や原材料、完成品の輸送が増加することが予想されます。

つまり

- ① 大型コンテナ貨物の取扱能力が向上し、迅速かつ効率的な物流が可能になります。
- ② 県内企業の生産活動が円滑化し、県経済の活性化が期待されます。

③ 熊本港の機能強化は県産の農水産物や工業製品の輸出入が促進され、物流拠点としての競争力が高まることで、新たな企業誘致や雇用創出にもつながります。

④ 港湾インフラの整備は周辺道路や交通網の発展を促し、地域全体の利便性向上にも寄与します。

以上のことから西区に位置する熊本港が九州の重要な物流拠点として成長することが大いに期待されます。

天明新川の整備について

以前、旧天明町の住民の方から「天明新川の法面がところどころ朽ちて崩壊しつつある。このまま放置していたら、大雨の際にそこから漏水し田畑に浸水する恐れがあるので対応をお願いしたい」との依頼を受けました。

確かに現地に行くと朽ちているところや③のように何故かしら一部擁壁（土の崩壊を留める土留めのひとつであり壁状の構造物を指します）が整備されていない部分も散見され違和感を覚えました。

関係機関に依頼して調査した結果、①〜⑤までの5箇所について整備する必要性があることがわかりました。そこで昨年、設計を終えて今年から優先順位の高いところから順次着工（①既に着工）する運びになりました。若干時間を要しますがご理解とご協力よろしく申し上げます。



浜線健康パークの遊具について

1月末、匿名で連絡がありました。話によると、『日ごろ利用している浜線健康パークの遊具が11月末から老朽化のため使用中止になっている。施設の管理者にいつ改良されるのか尋ねても要領を得ないので困っている。』とのことでした。早速現地に行くと、確かにパークの南側にある6つの遊具の半分が立ち入り禁止の黄色いテープで囲まれています。

近年、浜線健康パーク周辺は大規模な住宅地が誕生したことにより、新たな子育て世代の流入が増えました。また以前から子ども園はじめ小学校の児童の利用も少なくありませんでした。

パーク内に設置してある遊具は全て木材を使用しているため、プラスチック製と違って老朽化は否めません。一方で木材特有の温かみがパークの遊具の特徴であり、改修の手配、作業にも一定の時間を要します。



関係部署によると「3月中旬を目前に全ての遊具の改良工事を完了する」とのことでした(2月25日時点)。ご迷惑をおかけしますが、何よりも子どもたちの安全を第一にご理解いただけますようお願い申し上げます。

四番漁港について 畠口町

1月28日、埼玉県八潮市の交差点で陥没事故が発生しトラックが穴に転落しました。原因は下水道管の破損と見られます。

昨今、下水道のみならず高度経済成長長期に整備した道路、水道管、橋梁、トンネル：私たちが日常利用するインフラの老朽化が指摘されています。人口減少が進む中、限られた予算でいかに効率的に改修、長寿命化を図るかが問われます。

インフラといえば昨年、畠口町の住民の方から**四番漁港の堤防の沈下による①段差・空洞②堤防目地の開きについて相談を受けました。**そこで関係機関に依頼したところ…

調査結果と改修法

①沈下の進行は見られないので、段差の解消と空洞対策を行います。

②開きの進行は見られないので、海側から特殊の防水シート、目地開き部分については目地材の充填により補修を行います。

復旧工法
特殊防水シート
海または天端表面側
目地
バックアップ材
水中硬化材
堤体盛土側
施工例

【施工時期】

補修にあたってはコンクリートを使用するので、**工事は海苔養殖期間を除いた4月から9月末までを予定しています。**

